

- 問1 12世紀の日本と諸外国との貿易に関する記録には、ある人物が航路や港を整備して貿易を拡大させたことが記されています。この人物が、武士として初めて就任した最高官職の名称として正しいものはどれですか。 (2024年 宮城県公立入試 類似)
- 成人後の天皇を輔佐する関白
 - 天皇に代わって政治を行う摂政
 - 朝廷の最高機関である太政官のトップである太政大臣
 - 幕府を開くために朝廷から任命される征夷大將軍
- 問2 平安京の所在地について、近畿地方の他の歴史的な拠点と比較した説明として正しいものはどれですか。 (2024年 長野県公立入試 類似)
- 平安京は近江国に位置し、琵琶湖の東岸に沿って建設された。
 - 平安京は伊勢国に位置し、伊勢神宮のすぐ西側に建設された。
 - 平安京は山城国に位置し、大和国に置かれた平城京よりも北に位置する。
 - 平安京は摂津国に位置し、難波宮（大阪）よりも西に位置する。
- 問3 平安時代に藤原氏が行った「摂関政治」と呼ばれる政治体制の仕組みについて、最も適切に説明しているものはどれか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
- 優れた武士団を組織して他の有力貴族を武力で排除し、軍事的な優位性を背景にして政治の重要ポストを独占した。
 - 自分の娘を天皇のきさきとし、その間に生まれた子が天皇になった際に、母方の親戚（外戚）として政治の実権を握った。
 - 仏教の教えを政治の根本に据え、大規模な寺院を建立して人心を掌握することで、天皇に代わって国政を担った。
 - 地方の有力な農民に土地の私有を認め、その見返りとして徴収した多額の税を背景に、経済力で天皇を圧倒した。
- 問4 平安時代末期の東北地方において、奥州藤原氏が平泉に中尊寺金色堂などの壮大な寺院を建立した背景として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 神奈川県公立入試 類似)
- 大陸との貿易によって得られた膨大な富を誇示し、宋の建築様式をそのまま日本に再現しようとしたため。
 - 鎌倉幕府の軍事的な圧力を退けるため、強固な城郭を兼ねた宗教施設を整備する必要があったため。
 - 朝廷から派遣された国司に対抗するため、独自の律令制度を確立しようという政治的意図があったため。
 - 長引く戦乱で亡くなった人々を敵味方の区別なく供養し、仏教による平和な理想郷を築こうとしたため。
- 問5 11世紀半ば、社会の乱れとともに仏教の教えが衰える時代の到来を恐れる「末法思想」が広まり、阿弥陀如来を信じて死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う信仰が盛んになりました。この信仰に基づき、当時の摂政・関白の権勢を背景として京都の宇治に建立された建築物として正しいものはどれですか。 (2018年 岡山県公立入試 類似)
- 極楽浄土の宮殿を模して造られ、阿弥陀如来像が安置された平等院鳳凰堂
 - 聖武天皇が国家の平安を祈って全国に建立を命じた、壮大な伽藍をもつ国分寺
 - 足利義満が金閣を建立したことに代表される、武家文化と公家文化が融合した北山文化の建築
 - 親鸞が念仏を唱えることで救われると説き、各地に広まった浄土真宗の本山寺院
- 問6 平安時代末期から室町時代までの歴史的な出来事を整理した時系列において、平清盛が日宋貿易を推進した時期のあとに起きた出来事として、適切なものはどれか。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
- 聖武天皇の命により、奈良に東大寺の大仏が造立され、鎮護国家の政治が行われた
 - 菅原道真が、唐の衰退を理由に遣唐使の派遣を停止することを朝廷に提言した
 - 藤原頼通によって、極楽浄土の様子を再現した平等院鳳凰堂が宇治に建立された
 - 鎌倉幕府の執権である北条時宗が、モンゴル（元）からの服属要求を拒否し、元寇が起こった
- 問7 遣唐使とともに唐へ渡った僧たちが、帰国後に新しい仏教を広めた動きについて述べた文として正しいものはどれですか。 (2020年 北海道公立入試 類似)
- 最澄は比叡山に金剛峯寺を建て、天台宗を広めた。
 - 空海は比叡山に金剛峯寺を建て、天台宗を広めた。
 - 空海は高野山に金剛峯寺を建て、真言宗を広めた。
 - 最澄は高野山に延暦寺を建て、真言宗を広めた。
- 問8 中尊寺金色堂を建立した奥州藤原氏の歴史的背景と、その性質について述べた文として最も適切なものを選びなさい。 (2022年 茨城県公立入試 類似)
- 日本海側の佐渡金山を独占的に支配し、北前船を用いた交易を通じて大陸の文化を積極的に取り入れた。
 - 北上川流域の豊富な金や馬の産地を支配し、その経済力で浄土信仰に基づく独自の文化を平泉に築いた。
 - 伊勢神宮の門前町を拠点として、有力な御家人として鎌倉幕府の草創期を軍事面から支えた。
 - 出雲地方の鉄資源を背景に勢力を伸ばし、独自の青銅器文化を発展させ、中央政権から独立した自治を行った。
- 問9 平安時代中期、藤原道長や頼通の親子は、自分の娘を天皇の后とし、生まれた子が天皇になると、その外戚として政治の実権を握った。天皇が幼いときは摂政、成長してからは関白の職について行われたこの政治形態を何というか。 (2024年 青森県公立入試 類似)
- 武家政治
 - 院政
 - 摂関政治
 - 執権政治
- 問10 平安時代末期の東北地方における政治情勢と奥州藤原氏の関わりについて述べた文として、正しいものはどれか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
- 藤原清衡が平泉を拠点に陸奥国の支配を確立し、金や馬などの特産品を通じて独自の勢力を築いた。
 - 北条氏が執権として実権を握り、平泉に東北地方を統括するための政庁を設置して支配を広げた。
 - 平氏が日宋貿易の拠点を東北に移し、平泉を国際的な貿易港として整備することで富を蓄えた。
 - 足利氏が源氏の血筋を主張して東北地方の武士をまとめ、平泉を拠点に幕府を開いた。
- 問11 平安時代末期、平氏政権を確立した平清盛が、現在の神戸市にあたる場所に「大輪田泊」を整備して積極的に推し進めた中国（宋）との貿易について、その主な目的と影響を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2023年 北海道公立入試 類似)
- 倭寇による被害を防ぐために、明の皇帝から交付された勘合という札を用いて、正式な貿易船であることを証明させた。
 - 貿易によって得られる莫大な利益を平氏一門の経済的基盤とし、また輸入された宋銭が国内で流通するきっかけとなった。
 - 長崎の出島を窓口として、銀や銅を輸出する代わりにキリスト教の布教を伴わないヨーロッパの文化を導入した。
 - 遣唐使の派遣を継続することで、大陸の高度な律令制度や仏教文化を直接取り入れ、天皇中心の国づくりを強固にした。
- 問12 平安時代初期、桓武天皇の命を受けた坂上田村麻呂が東北地方への遠征を行った理由と、その際に与えられた役職の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
- 全国の戸籍を作成し租税を徴収するため、国司（こくし）に任命された。
 - 近畿地方の寺院の勢力を抑えるため、関白（かんぱく）に任命された。
 - 北九州の防備を固めるため、防人（さきもり）に任命された。
 - 東北地方の蝦夷（えみし）を服従させ支配を広げるため、征夷大將軍に任命された。
- 問13 1086年に白河天皇が幼い堀河天皇に位を譲った後、上皇となっても自ら政治の実権を握り、独自の役所を設けて行った平安時代末期の政治体制を何といいますか。 (2017年 徳島県公立入試 類似)
- 摂関政治
 - 武家政治
 - 院政
 - 親政